平成18年度第2回介護保険運営協議会、第2回地域包括支援センター運営協議会及び第2回地域密着型サービス運営委員会

日 時:平成19年2月20日(火)午後6時~午後8時

場 所:福島町役場庁議室

委員区分		委員氏名	出欠	町・事務局		
第1号委員 (保健・医 療・福祉 識見委員)	会長	小笠原 実	出席	町 長	村 田 駿	
		上嶋秀司	出席	助 役	竹 下 泰 弘	
		常磐井 輝 彦	出席	参事	花 田 修 一	
		金谷英昭	出席	総括主査	鳴海清春	
		阿 部 透	出席	主 査	西田啓晃	
第2号委員 (被保険者 代表委員)		塚 本 謙 也	出席	主 査	星野優司	
		清 水 圭 子	欠席	主 査	三上美穂	
		石川静子	欠席	主 事	石川秀二	
		常磐井 美穂子	出席	主任保健師	村 上 啓 子	
	副会長	花 田 勇	欠席			

議題及び会議概要

1. 第2回介護保険運営協議会

(1) 平成19年度介護保険特別会計予算(案)について

【事務局から資料により説明】・・・承認される

【説明に対する主な意見】

委員:福祉用具を貸与する場合に、介護度によって借りられるものが異なるのか。

事務局:制度改正により一部で使えなくなったものがある。具体的には、要介護1未満の方はべ

ットレンタルができなくなっている。

委員:被保険者数1,854人のうち、介護認定者はどの程度になるのか。

事務局:認定者は、1月末現在で271人、全体の15%程度となっている。

委員:介護サービスを受けている方は、どの程度の割合になっているか。

事務局:全体として220人程度で、認定者の8割程度がサービスを利用している。

委員:第2号保険者の保険料について、今後も上がっていくことになるのか。

事務局:全国的に介護保険給付費が高騰しており、年々高くなっている傾向にある。

委員:施設利用者の利用料は、特定入所者サービス費があることにより利用者負担に変化はな

いか。

事務局:食費負担は高くなっているが、高額介護サービスの基準が下がったことにより、トータ

ルで考えた場合、負担額に変更は見られない。

(2) 渡島西部地域介護認定審査委員の推薦等について

【事務局から資料により説明】・・承認される

2. 第2回地域包括支援センター運営協議会

- (1) 平成18年度地域包括支援センター業務実績について
- (2) 平成19年度地域包括支援センター業務計画(案)について

【事務局から資料により説明】・・承認される

【説明に対する主な意見】

委員:ふれあい教室などを実施してみて、新たな課題点などはないのか。

事務局:特定高齢者と思えるような方に限って、教室などへの参加意識が低く問題と考えている。 今後は、地域全体で声かけなど支えあうよう働きかけを強めていくことが必要である。

委 員:介護度が増えないようにするには、介護予防に尽きると思うが、具体策はあるのか。

事務局:町内会、健康づくり推進委員及び民生委員などと協力し、引きこもりの高齢者に対して 声かけなどを行っている。

委員:介護家族交流会について、広報等で周知しているのか。

事務局: 広報等で周知しても参加が少ない現状もあり、個別に案内を出し参加者を募っている。 参加者などのアンケートなどによると、参加して見て色々な意見交換ができ、参加前は 暗い気持ちであったが、交流後は明るい気持ちに変わったという意見をいただいている。

(3) 平成19年度地域支援事業予算(案)について

【事務局から資料により説明】・・承認される

【説明に対する主な意見】

委 員:ショートスティの料金 8,250 円は一日の単価か、また、サービス内容で従前の要支援 $1 \cdot 2$ の方の分ですか。

事務局:従前の自立の方の分に当たります。料金8,250円には食費を含まれており、陽光園への委託料となっています。なお、自己負担は別途町の歳入となる。

3. 第2回地域密着型サービス運営委員会

(1) 地域密着型サービス事業指定について

【事務局から資料により説明】・・承認される